

報道資料

2018年11月14日
(公財)関西文化学術研究都市推進機構

第6回けいはんな IoT フォーラム開催のお知らせ

(公財)関西文化学術研究都市推進機構(京都府相楽郡精華町、理事長 柏原康夫)は、(公財) 京都産業21、京都産学公連携機構と連携し、中小・ベンチャー企業の IoT ビジネス進出を支援する公開セミナー「第6回けいはんな IoT フォーラム」を2018年11月22日(木)にけいはんなプラザで開催します。

【第6回けいはんな IoT フォーラム 開催概要】

- 1 日 時 : 2018年11月22日(木) 13:30～17:05 (受付開始 13:00)
- 2 場 所 : けいはんなプラザ 交流棟 3 階「ナイル B」(京都府相楽郡精華町光台1丁目7)
- 3 参加対象 : IoT にご関心をお持ちの企業、研究機関、支援機関等
- 4 参加料 : 無料 (参加者登録制・インターネットによる事前登録)
イベント紹介・事前登録 URL https://www.kri.or.jp/news-event/event/20181011_636.html
- 5 主 催 : 京都府、(公財)京都産業 21、(公財)関西文化学術研究都市推進機構、京都産学公連携機構
京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト推進協議会
- 6 内 容 :
 - 13:30～13:35 開会挨拶 (5 分)
 - 13:35～13:45 事務連絡(IoT 関連事業の案内等) (10 分)
 - 13:45～14:45 事例講演 1 (60 分)
演題:「生産機械装置をスマートマシンに」
～アフターケアを目的とした遠隔監視システム～
講師:生田産機工業株式会社 生産本部 遠隔監視システム技術センター
センター長 鈴木 肇 氏
 - 14:50～15:50 事例講演 2 (60 分)
演題:「中小工場が『いきなり IoT』で生産管理」
講師:ものレボ株式会社 代表取締役 細井 雄太 氏
 - 15:50～16:05 休憩

16:05～17:05 事例講演 3 (60 分)

演題:「IoT で実現する働き方改革」

講師: サンプラスチックス株式会社 代表取締役社長 桃井 秀幸 氏

17:05 閉会

■けいはんな IoT フォーラムについて

本事業は、京都府が厚生労働省の「戦略産業雇用創造プロジェクト」の採択を受けて、京都市をはじめとする産学公・公労使の「オール京都」体制のもとで実施する「京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト」における「けいはんな分野融合・販路開拓事業」の一環として実施しています。

(事業実施期間:平成 28 年度～30 年度)

本事業の初年度は、ものづくり企業の皆様が今後 IoT を活用して現場の生産性向上のお手伝いをすることを目的に、最新情報のご提供を行って参りました。昨年度からは、実際の現場で IoT システム構築を検討し実践された企業様の事例紹介を発表していただきました。今年度も IoT 導入を目指す企業様のご参考となるようなフォーラムを企画し、生産部門の高品質化、高効率化、スマート化等に貢献させていただきます。

■本件 プレスリリースに関するお問合せ

(公財) 関西文化学術研究都市推進機構 <https://www.kri.or.jp/>

けいはんな IoT フォーラム事務局: 村山

京都府相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザ ラボ棟3F

TEL:0774-98-2230 FAX:0774-98-2202 E-mail:open-inv@kri.or.jp

第6回けいはんな IoT フォーラム 取 材 要 領

○報道関係の当日受付及び腕章の着用について

- ・報道関係用の受付にて“名刺”をお渡してください。
- ・ご持参の自社腕章または当機構が受付でお渡しする報道関係者用の名札をご着用ください。

※受付時間：2018年11月22日(木) 13:00～

場所：けいはんなプラザ 交流棟3階「ナイル B」

京都府相楽郡精華町光台1-7

○駐車場について

- ・お車でご来場の際は、けいはんなプラザ北側駐車場をご利用下さい。
- 駐車券をお渡ししますので受付でお申し出ください。

○記者席、カメラ位置等について

- ・会場に記者席を設けております。
- ・フォーラムの全ての講演を撮影いただけますが、スライドの撮影はご配慮ください。
- ・原則として、各社記者1名、カメラ1台(助手は1名まで)でお願いします。
(但し、一般参加者数や会場の状況を踏まえて、適時見直します。)

○当日会場での問合せ

- ・会場におります広報担当にお問合わせください。
- けいはんな IoT フォーラム事務局：村山

取材申込票

※申込締切:11月 21 日(水) 17:00

送付先: FAX:0774-95-5234 / E-mail:syuzai@kri.or.jp

所属(社名)	
取材者氏名	
連絡先(携帯電話)	
メールアドレス	
FAX	
カメラ機材 (該当に○印)	スチール / ムービー / なし
カメラクルー(該当する場合) ※全員のお名前を ご記入ください。	

※いただいた情報は、本取材対応のためのみに利用いたします。

第6回 けいはんなIoTフォーラム

2018年11月22日(木)

受付 13:00~

■プログラム

13:30~13:35

開会挨拶

13:35~13:45

事務連絡 (IoT 関連事業の案内等)

13:45~14:45 事例講演 1

「生産機械装置をスマートマシンに」
~アフターケアを目的とした遠隔監視システム~
生田産機工業株式会社 生産本部
遠隔監視システム技術センター
センター長 鈴木 肇 氏

14:50~15:50 事例講演 2

「中小工場が『いきなりIoT』で生産管理」
ものレボ株式会社
代表取締役 細井 雄太 氏

15:50~16:05

休憩

16:05~17:05 事例講演 3

「IoT で実現する働き方改革」
サンプラスチックス株式会社
代表取締役社長 桃井 秀幸 氏

17:05

閉会・アンケート回収

会場 けいはんなプラザ 交流棟 3 階ナイル B

京都府相楽郡精華町光台 1 丁目 7

対象 IoT にご関心をお持ちの企業、研究機関、
支援機関等

申込 WEB より申込み 詳細は裏面をご覧ください



参加費無料



(公財) 関西文化学術研究都市推進機構

けいはんなIoT フォーラム事務局

TEL : 0774-98-2230

MAIL : open-inv@kri.or.jp

平成30年度 IoT/IoE ビジネスセミナー

第6回けいはんな IoT フォーラム

2018年11月22日(木) 13:30~17:05

【受付】13:00より

【会場】けいはんなプラザ交流棟 3階「ナイル B」

本事業の取組の一環として、IoT 導入を検討するものづくり企業様に向けて、IoT による現場の生産性向上や働き方改革のお手伝いをするを目的に、最新情報の提供を行って参りました。事業最終年度の今年度は、IoT システムを導入された企業様から、具体的な導入事例、実施の意義、現場での改善事例などを発表していただきます。導入にあつたのメリットや課題解決の参考としてご活用いただければと思います。

事例講演 1

生産機械装置をスマートマシンに
～アフターケアを目的とした
遠隔監視システム～



鈴木 肇 氏

生田産機工業株式会社
生産本部

遠隔監視システム技術センター センター長

生田産機工業株式会社の遠隔監視システム（METIS-i）は、既設、新設装置のリアルタイムメンテナンスと予兆保全を遠隔監視にて行うシステムです。生産機械装置からのセンシングデータをセキュアな通信網を使用し、クラウドに蓄積し、そのビッグデータを解析することで保守、メンテナンスを行います。

1978 年に中堅制御メーカーに入社、35 年間、設計、検査、試運転を通じて各種産業機械装置の駆動、ドライブコントロールに従事し、2013 年より生田産機工業株式会で電気グループ後進の育成を担いつつ、遠隔監視システム技術センターのセンター長として新規事業である遠隔監視システムの開発・制作・拡販に取り組んでいる。

事例講演 2

中小工場が『いきなり IoT』で
生産管理



細井 雄太 氏

ものレポ株式会社
代表取締役

小ロット生産をする中小工場が納期どおり生産して納品できていないという課題に対し、クラウド IT ツールと IoT を活用して解決する事例を紹介。改善の基本、生産管理の基本から IT・IoT に落とし込んで課題解決する流れを QC ストーリーに沿って説明します。

2009 年同志社大学工学部卒業後、アイシン精機株式会社に生産技術者として入社。同社では、生産技術の開発を中心にしながら、米国での新製品の生産ラインの企画から立上げまでに従事。その後、同社の国内工場の合理化業務にも従事。製造現場への最新技術の導入を成功させるスキルを獲得。トヨタ生産方式の考え方に生産技術と最新の IT を組み合わせることで、製造革命を日本から起こすべく、2016 年ものレポ株式会社を地元京都にて創業。

事例講演 3

IoT で実現する働き方改革



桃井 秀幸 氏

サンプラスチックス株式会社
代表取締役社長

これまで製造現場での改善手法は、熟練工の「カン」と「コツ」に頼るところが多く見受けられました。労働人口が減少する昨今、この「匠の技」を次の世代にいかに伝承させていくか？という課題に IoT を用いて「匠の技」を「組織のノウハウ」に変換する取り組みを紹介します。

1992 年サンプラスチックス株式会社に入社、2013 年代表取締役社長に就任。印刷済み食品ラベルをプラスチック容器の表面に射出成形工程で同時装填する独自の IML 技術を開発。2012 年けいはんな地区に本社を移転と同時に工場の FA 化に取組み、原材料の投入から製品の取出し、検査、梱包に至る工程の自動化を実現。検査機で見つけた不良原因をリアルタイムに分析、製造プロセスに反映して加工条件を修正するシステムを開発し、高い品質を保つスマートファクトリーを追及している。

申込方法

下記 URL よりお申込みください。参加費は**無料**です。
申込多数の場合はお断りさせて頂くことがあります、ご了承ください。
<https://www.kri.or.jp/contact/20181122.html>



(公財)関西文化学術研究都市推進機構
けいはんな IoT フォーラム事務局

TEL : 0774-98-2230
Mail : open-inv@kri.or.jp

本事業は、京都府が厚生労働省の「戦略産業雇用創出プロジェクト」の採択を受けて、京都市をはじめとする産学公・公労使の「オール京都」体制のもとで実施する「京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト」の一環として実施するものです。（事業実施期間：平成 28 年度～30 年度）

■主催：(公財)関西文化学術研究都市推進機構、京都府、(公財)京都産業 21、京都産学公連携機構、京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト推進協議会